

2026.7.5

主催：
女性の家HELPを支える会

sun

講演とジャズ集い

“無音の声”を聴こう

——今“自分を確かにするもの”をどこに求めるか——

安積 力也 *Rikiya Azumi*

1944年、栃木県生まれ。国際基督教大学（ICU）在学中にキリスト教の信仰に出会い、1972年、同大学院修士課程修了。『聖書』の人間観に立った人間教育の実践的探究を志し、敬和学園高等学校教頭、日本囃話学校校長、恵泉女学園中学・高等学校校長、基督教独立学園高等学校校長を歴任。NHK教育テレビ『こころの時代』出演ほか。著書に『教育のカー「教育基本法」改定下で、なおも貫きうるもの』（岩波ブックレットNo.715）など。半世紀以上、キリスト教教育の場で、思春期の若者に、向き合い続けている。



14:00～ 開場 13:30

入場
無料



Deep River
Sing Sing Sing
What a Wonderful World
他

3°C ジャズミュージシャンとして、全国的に活躍している3人がお互いクリスチャンであることを知り、ユニットを結成し、2019年にアルバム"Walk With You"を発表。日本各地の教会や学校、ライブハウスなどでのコンサートを続けている。「3°C」のCはクリスチャン(Christian)のC！天を仰ぎ、3人がジャズで音楽の捧げ物をするグループ。

会場

日本キリスト教団 **経堂緑岡教会**

牧師 増田 琴

〒156-0052 東京都世田谷区経堂1丁目30-21

Tel. 03-3428-4067 e-mail: info@km-church.or.jp



恵泉女子学園高等学校卒業
3歳よりピアノを習い始める
芳子に師事。数々の賞を受賞
2017年「シン・アノニマス」新人賞
2023年「FIVE」Album大賞
2023「COTTON CLUB」ジャズコンクール
6回日本ジャズコンクール
16歳よりジャズを始める
2011年「ジャズコンクール」で入賞
2017年「ジャズコンクール」で入賞
2023年「ジャズコンクール」で入賞
ジャズ家系3代目
ジャズオーケストラの指揮者
CDデビュー
初のアルバム
5枚のアルバム
デビュー
2冠獲得

飯田 ちづ花 *Satuki Tada* <Vocal>
日本基督教団阿佐谷東教会

Steve Sacks <Alto Sax, Flute>
Grace City Church Tokyo

Shigeyu Morishita <Piano>
日本基督教団教務教師

ジャズのサクソフーン奏者、またハーバード大学音楽理論学者としてスタート。20年に及ぶ40カ国で演奏。自らのリーダーとして、また40カ国で演奏。自らのアーティストには小野リサ、サカキ、エリント、オーケストラ、マリ、サカキ、エリントなどがいる。Look To The Sky、Christmas Presenceがリリースされている。

横浜生まれ。慶應義塾大学在学中よりジャズピアノとしてプロ活動を開始。綾戸倉恵子有名歌手の伴奏者として活躍。米カリフォルニアのモンテレザリアス、聖学院中学校高校に入学。在学中も奏職中。大学に韓国留学を経て、監理教師としての大学院にて哲学博士を取得。

女性の家HELPのための募金箱が受付にあります。

(公財) 日本キリスト教婦人矯風会 女性の家HELP(House in Emergency of Love and Peace)

矯風会の創立100周年の1986年に設立しました。国籍・在留資格を問わない、女性とその子どもたちのための緊急一時保護施設です。配偶者やパートナー、親族等からのDV被害や、家族との折り合いが悪く家を出たり、失業・貧困で居場所がない等の困難の中にある方が福祉事務所等を通して入所されます。安全に安心して滞在できるよう、プライバシー確保の工夫がされている個室と、施設内で調理する3食の食事を提供しています。滞在期間は原則2週間。状況により延長も可能です。設立以来の利用者数は女性と子どもを合わせて6,850余名です。日本国籍の方々と共に、アジア、アフリカ、南米、ヨーロッパ等世界各地出身の方が利用されています。

日本語(月・火曜午後、水・木曜午前、金曜午前・午後)、英語(月~金)、フィリピン語・インドネシア語(水曜・金曜)で10時から17時まで電話相談に応じています。年間の相談件数は日本国籍と外国籍の相談を合わせると約1,000件。心の問題、配偶者や親族からの暴力、住まいや子どものこと等、相談内容も多岐にわたります。女性の家HELPは民間の緊急一時シェルターで、公的な施設には入所が困難な方も利用されています。日本全国の矯風会会員からの会費や、国内外の支援者からの寄付金、矯風会の事業収入等で運営しています。また、補助金・交付金を活用し、ミュージックセラピー、フラワーアレンジメント等のプログラムや日本語支援プログラムを行っていますが、経営は厳しく赤字続きです。建物の老朽化も課題です。

女性の家HELPを必要とする女性・子どもたちのために、皆様のご理解、ご支援を心よりお願い申し上げます。
女性の家HELP施設長 松井弘子